

防災について問う

国・県に対し要望する／町長



議員 矢野 昭三

答

下村正直 町長

① 県の財政事情もあり本格的な工事がなされていない。一定の方向を定め全体計画に沿った事業が推進するよう取り組む。知事、土木部長に要請をする。

① 県管理河川伊与木川の改修（佐賀庁舎西側く港佐賀橋下流）を速やかに行うよう県へ働きかけているか。

② 市野瀬部落は山の下層部に人家があり、その上を国道が二重に通っている。路面、擁壁に亀裂がたくさんあり住民が安心して生活できるよう対策しているか。

③ 有井川の海岸防波堤を越波することがあり住民は生活を脅かされている。対策を県へ要望しているか。

問

道路管理等について 実現に努める／町長

① 上田の口にある町道で複

数の住民が落輪をしている。落輪が原因で砂防流路溝へ転落し、最悪の結果になった事故があった。道路管理をいかに考えているか。大変危険な道であり、流路溝へ防護柵の設置を県へ要望し、こんな事故が二度とないよう取組んで頂きたい。

② 町道成又熊野浦線は合併協定によると平成二十年度で工事完了のはずだが、今だに完了未了の理由は何か。

③ 県道秋丸佐賀線の改良に對して、土木事務所長から用地について森林管理局へ町独自の行動をして欲しいと話された。今後いかに取り組むか。

④ 市野瀬の人家終点で救急車が方向転換する場所を設置できないか。

答

下村正直 町長

中島一郎 佐賀まちづくり課長
松田博和 大方まちづくり課長

① 道が狭く急勾配であり、改良を検討していた用地がなかなか厳しく進んでいない。路面に凹凸があるので用地に關係がない部分で検討したい。防護柵も検討しながら県へ要望したい。

② 予算配分をする中で結果として一年休む事になったが、計画どおり完成に向け進める事に変りない。

③ 全体的に国有林の測量を要するため多額の経費が掛かり工事の困難性がある。森林管理局と連携をとりつつ県への要望活動も継続していく。

④ 国土交通省、町、地区役員と話し合いを持って問題解決して行く。

農業振興について

前向きに取り組む／町長

問

一次産業の町だが優良な堆肥がない。町内には堆肥作りのための原材料が多くあり、町が中心になって農家や消費者が喜ぶ農業を推進しないか。

答

下村正直 町長

需給調査、生産費、建設場所など課題がある。安全、安心な食料を供給するためにはもろもろの整備が必要だ。

救急車の導入について

多額の経費がかかり 難しい／町長

問

一度出勤すると帰署に二時間を要す事もある。この間に事故等が発生した場合は四十署へ応援を要請するが、応援を頂けない時は自家用車を使用する以外ない。高齢化が進む中、救急出勤が増加するので新規導入できないか。

答

下村正直 町長

年間四百八十九件の出勤があり、その内の四割程度は軽傷と聞く。この方達が使い方を考えて頂ければ今の体制で十分やれると思う。財政状況を考えると二台体制は大変難しい。

